

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 12 巻第 14 号

第 14 週 (4 月 2 日 ~ 4 月 8 日)

発行年月日:平成24年(2012年) 4月11日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

◆ インフルエンザの警報解除!!、注意報も解除!!

★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第14週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---**結核 4名**
- ・三類感染症---報告はありません
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---報告はありません

★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(919名)よりさらに減少し、今週は660名となっています。特に、インフルエンザおよびA群溶レン菌咽頭炎で大幅に減少しています。

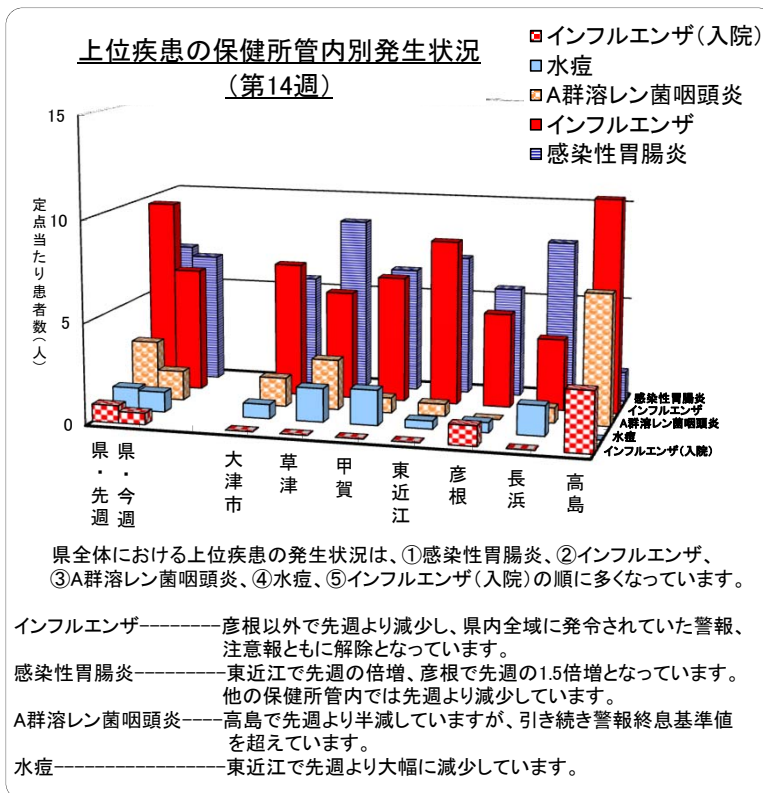
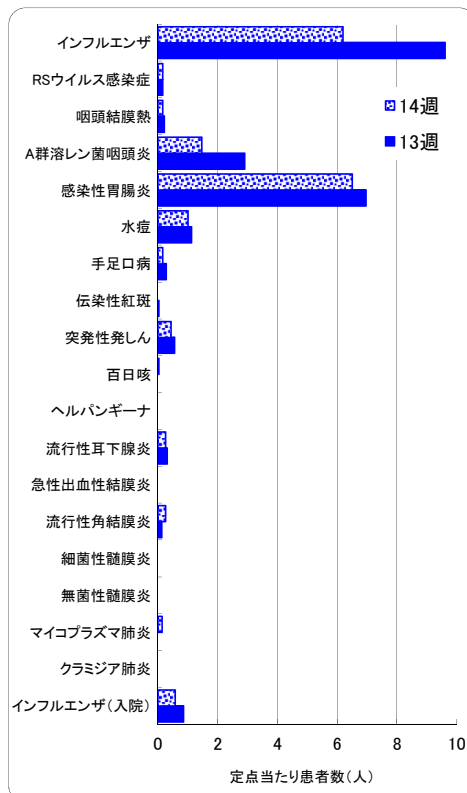
また、インフルエンザについては、平成24年第3週(1/16～1/22)に県内全域に警報が発令されていましたが、「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、平成24年第14週(4/2～4/8)に、警報の解除基準に該当したため解除されました。また、平成24年第2週(1/9～1/15)に県内全域に発令されていた注意報についても、同時に解除されました(解除基準については、(3)今週の発生状況参照)。

今週、微増した疾患は百日咳、流行性角結膜炎およびマイコプラズマ肺炎で、減少した疾患はインフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘等10疾患です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、インフルエンザ入院サーベイランスでは、インフルエンザの入院患者 4名の届出がありました。保健所管内別では彦根 1名および高島 3名です。性別は男性 3名、女性 1名です。年齢群別では、2歳 1名、40～49歳 1名、60～69歳 1名および80歳以上 1名です。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。

警 報---インフルエンザ (警報開始基準値 30.00、警報終息基準値 10.00) 高島保健所管内
A群溶レン菌咽頭炎 (警報開始基準値 8.00、警報終息基準値 4.00) 高島保健所管内



1. 全数報告感染症（一類～五類）の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～五類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～五類および五類感染症等を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成24年 累積報告数		平成23年 累積報告数 ^(※1)		平成22年 累積報告数 ^(※2)	
		滋賀 (14週)	全 国 ^(※3) (13週)	滋賀	全 国 ^(※3)	滋賀	全 国 ^(※3)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	68	6,556	337	31,467	251	26,866
三類感染症	コレラ	0	1	0	12	0	11
	細菌性赤痢	0	72	5	299	2	235
	腸管出血性大腸菌感染症	3	157	71	3,938	66	4,134
	パラチフス	0	4	0	23	1	21
四類感染症	E型肝炎	0	38	0	61	0	66
	A型肝炎	0	31	0	176	3	347
	オウム病	0	1	0	13	1	11
	つつが虫病	1	61	1	461	2	407
	デング熱	0	36	1	104	2	244
	マラリア	1	11	0	78	0	73
	レジオネラ症	2	153	12	819	10	751
五類感染症	アメーバ赤痢	5	201	2	814	7	843
	ウイルス性肝炎	0	45	1	249	3	221
	急性脳炎	3	144	1	259	0	242
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	44	2	136	2	172
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	75	2	198	3	122
	後天性免疫不全症候群	0	316	6	1,523	1	1,553
	ジアルジア症	0	10	1	68	1	77
	梅毒	0	187	6	827	9	621
	破傷風	0	18	1	114	0	106
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	22	0	73	2	120
	風しん	2	107	2	374	5	87
	麻しん	1	94	1	443	1	447
動物の感染症	細菌性赤痢（サル）	0	1	9	37	0	59

注：14週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報（SIDR）に掲載します。

※1：感染症発生動向調査事業年報暫定数（国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月現在）。

※2：感染症発生動向調査事業年報確定数（国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月）。

※3：全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています（国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照）。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関（定点）といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。（患者報告数＝定点当たり患者数×定点数）

(1) 疾病別・週別発生状況（平成24年第9週～14週、2/27～4/8）

定点区分	定点 数	疾 患 名	定点当たり患者数（ ↑前週より増加 →前週と同じ ↓前週より減少）											
			9週	10週	11週	12週	13週	14週	週					
			2/27～	3/5～	3/12～	3/19～	3/26～	4/2～	10	11	12	13	14	
インフルエンザ	53	インフルエンザ	13.23	12.28	11.62	14.45	9.62	6.19	↓	↓	↑	↓	↓	
小児科	32	RSウイルス感染症	0.53	0.19	0.28	0.13	0.16	0.16	↓	↑	↓	↑	→	
		咽頭結膜熱（プール熱）	0.19	0.13	0.13	0.16	0.22	0.16	↓	→	↑	↑	↓	
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.28	3.06	2.50	2.16	2.91	1.47	↑	↓	↓	↑	↓	
		感染性胃腸炎	6.97	6.78	6.06	6.88	6.97	6.50	↓	↓	↑	↑	↓	
		水痘	1.56	1.13	1.22	1.72	1.13	1.00	↓	↑	↑	↓	↓	
		手足口病	0.25	0.25	0.34	0.56	0.28	0.16	→	↑	↑	↓	↓	
		伝染性紅斑（リンゴ病）	0.03	0	0.03	0.03	0.03	0	↓	↑	→	→	↓	
		突発性発しん	0.69	0.69	0.44	0.50	0.56	0.44	→	↓	↑	↑	↓	
		百日咳	0	0	0	0	0	0.03	→	→	→	→	↑	
		ヘルパンギーナ	0	0	0.06	0.03	0	0	→	↑	↓	↓	→	
		流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.22	0.22	0.16	0.31	0.31	0.25	→	↓	↑	→	↓	
眼科	8	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→	
		流行性角結膜炎	0	0.25	0	0.38	0.13	0.25	↑	↓	↑	↓	↑	
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→	
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→	
		マイコプラズマ肺炎	0	0.14	0.14	0.43	0	0.14	↑	→	↑	↓	↑	
		クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0.14	0	0	0	→	↑	↓	→	→	
		インフルエンザ（入院）*	1.00	0.86	0.29	1.00	0.86	0.57	↓	↓	↑	↓	↓	

※：平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数（定点当たり患者数）を掲載

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第14週、4/2~4/8)

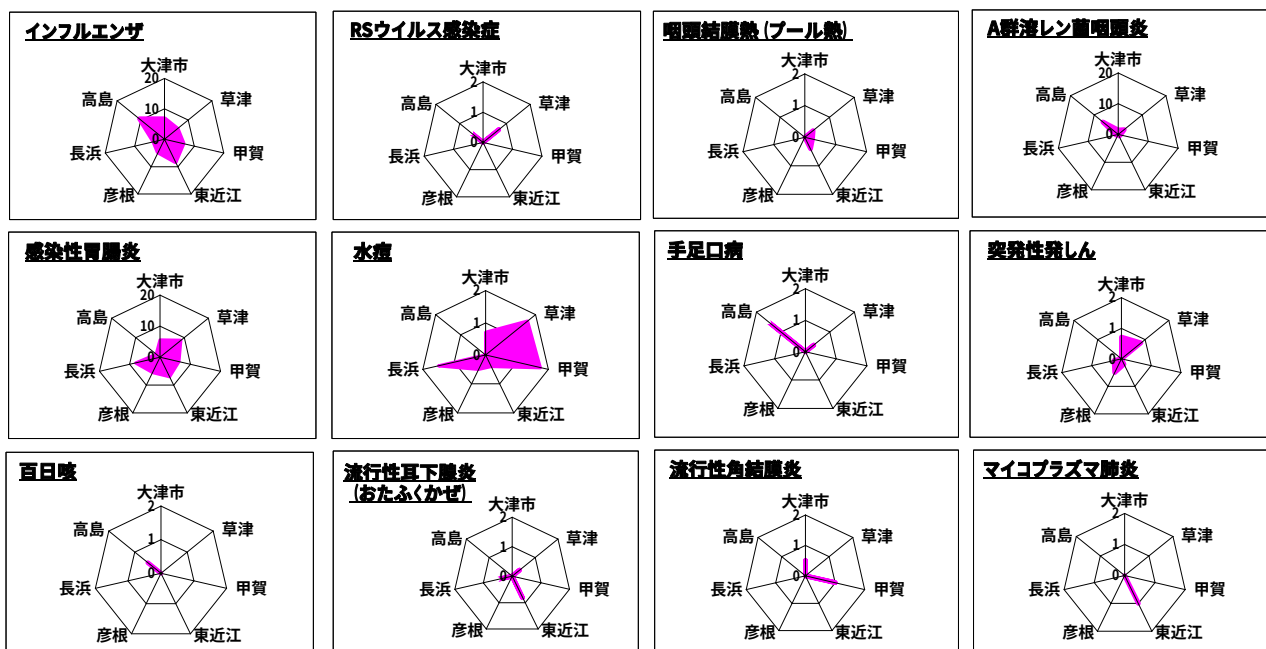
疾 患 名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	6.19	6.73	5.40	6.29	8.25	4.71	3.57	10.67	
RSウイルス感染症	0.16	0	0.67	0	0	0	0	0.50	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.16	0	0.33	0.25	0.40	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.47	1.43	2.50	0.75	0.60	0	0.75	6.50	
感染性胃腸炎	6.50	5.57	8.67	6.25	7.00	5.50	8.00	1.50	
水痘	1.00	0.71	1.67	1.75	0.40	0.50	1.50	0	
手足口病	0.16	0	0.33	0	0	0	0	1.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.44	0.71	0.83	0	0.20	0.50	0.25	0	
百日咳	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.25	0	0.33	0	0.80	0	0.50	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.25	0.50	0	1.00	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザ(入院)	0.57	0	0	0	0	1.00	0	3.00	

赤・太字
青緑・太字

は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。
は注意報発生基準値を超えています。

0 2 4 6 8 10
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



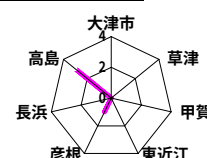
(3)今週の発生状況

<インフルエンザ>

県全体では先週より大幅に減少し、大津市保健所管内で警報終息基準値(10.00)未
満、東近江保健所管内で注意報発生基準値(10.00)未満となっています。高島保健所管
内では引き続き警報終息基準値を超えています。

<手足口病> 高島保健所管内では、警報終息基準値(2.00)未満となっています。

インフルエンザ(入院)



[トップページに戻る](#)

インフルエンザ警報および注意報の解除基準

警報:インフルエンザの警報終息基準値を超える全ての保健所管内人
口の合計が、県人口全体の30%未満になった時点で解除します。

警報終息基準値:定点当たり患者数 10.00

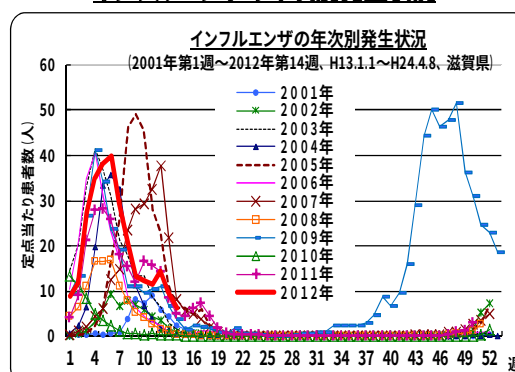
注意報:県全体の定点当たり患者数が、注意報発生基準値未
満(10.00)になった時点で解除します。

第14週の場合

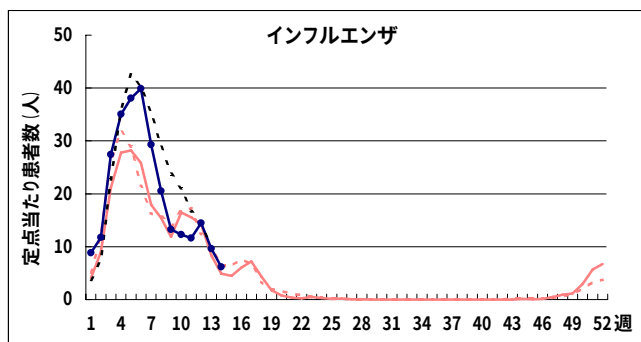
警報終息基準値を超えている保健所管内は、高島保健所管内のみ
です。したがって、警報終息基準値を超える全ての保健所管内人口の
合計は、約52千人(平成24年3月1日現在)で、県人口全体(1,415千人)
の30%未満(424千人)となっています。

また、高島保健所管内の定点当たり患者数は、10.67で、注意報発
生基準値を超えています。県全体の定点当たり患者数は6.19となっ
ているため、県全体としては注意報発生基準値未満となるので注意報
は解除されます。

インフルエンザの年次別発生状況

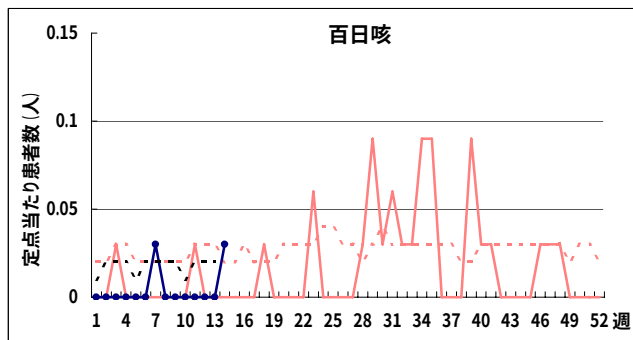
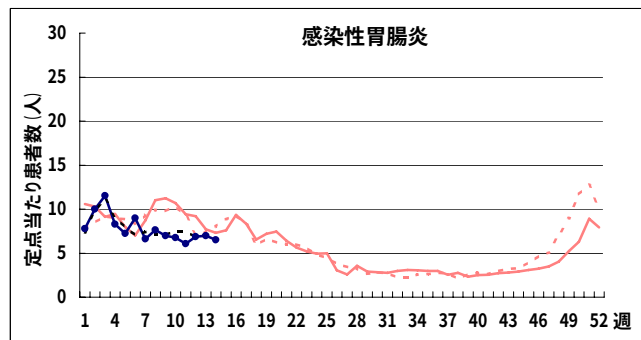
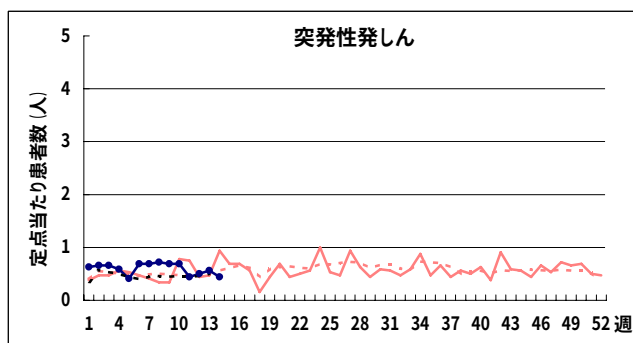
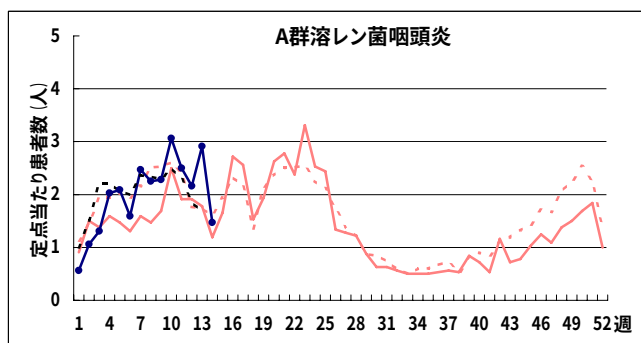
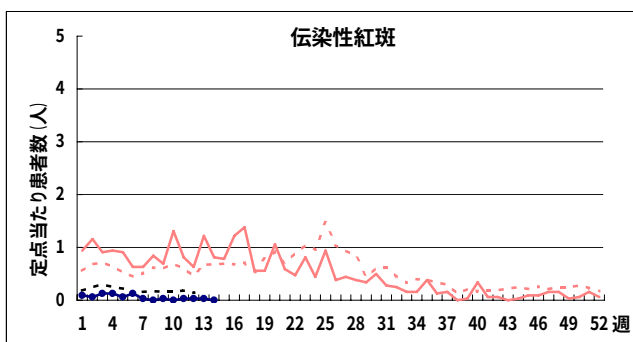
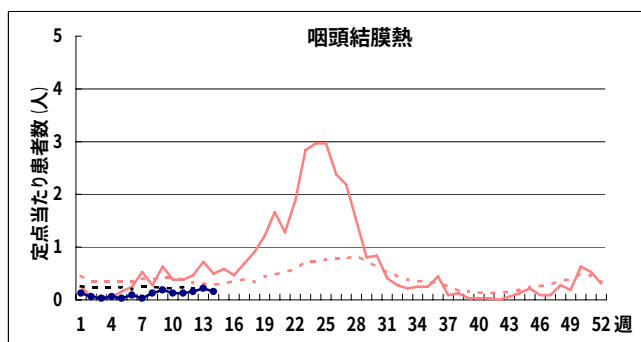
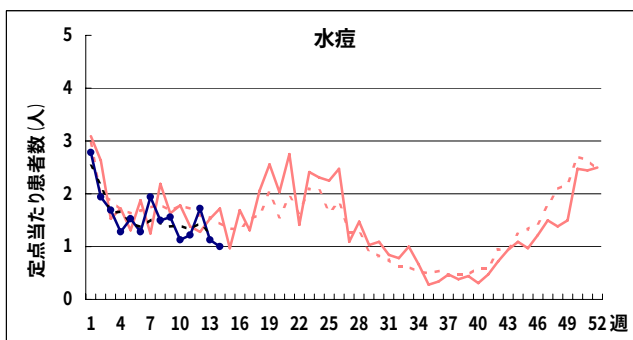
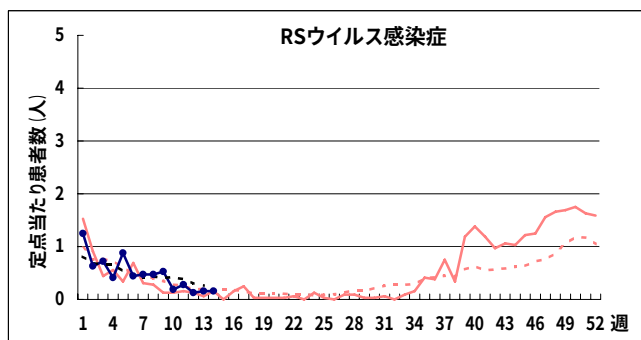


疾病別定点当たり患者数 (平成24年第 14 週、H24.1.2～H24.4.8)



H23 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)

H24 { 滋賀 (solid blue line)
全国 (dotted blue line)



疾病別定点当たり患者数 (平成24年第14週、H24.1.2～H24.4.8)

H23 〔 滋賀 〰〰〰 全国 〰〰〰 〕 H24 〔 滋賀 ●●● 全国 〰〰〰 〕

